

第208回液体クロマトグラフィー研究懇談会例会

日時:2007年11月16日(金) 13時~17時20分

会場: **東京理科大学薬学部校舎 薬学部1442教室(14号館) アクセス**
[千葉県野田市山崎2641、電話:04-7121-1501、交通:東武野田線「運河」駅下車]
薬学部校舎へは、理工学部校舎を通り抜ける必要があります(徒歩7-8分)。
最寄り駅からのアクセスは[Yahoo路線](#)でお調べ下さい。

講演主題:LC-MSの「ここがポイント」

LC-MSは近年、食品・医療・環境など幅広い分野で活用されています。ところで、LC-MSをうまく使うにはどうしたらよいか悩んでいませんか。精確な測定を行うには、ちょっとした「ポイント」が必要なことがあります。そこで本例会では、装置を使用するうえでの「ポイント」、測定における「ポイント」などを紹介していただきます。

講演

1. 講演主題概説 (13:00~13:05)
(独)産業技術総合研究所)北牧 祐子
2. LC-MS概説 (13:05~13:35)
(日本電子(株))高橋 豊
3. LC/MSおよびLC/MS/MSの上手な使い方 (13:35~14:05)
(アジレント・テクノロジーズ(株))滝埜 昌彦
4. LC-MSによる構造推定のポイント・・・MSⁿでの精密質量測定 (14:05~14:35)
(株)島津製作所)八巻 聡
5. Ion mobility MSを用いた分子形状とイオン価数による分離 (14:35~15:05)
(日本ウォーターズ(株))長瀬 勝敏
6. 電場型FTMSと多段階MS/MSによる代謝物探索と構造解析 (15:20~15:50)
(株)サーモフィッシャーサイエンティフィック)窪田 雅之
7. ナノLC-LIT/TOFMSのタンパク質同定への応用 (15:50~16:20)
(株)日立ハイテクノロジーズ)吉江 正樹
8. LC-MSによる修飾蛋白質の構造解析と定量 (16:20~16:50)
(独)産業技術総合研究所)絹見 朋也
9. 総括 (16:50~17:20)
(東京理科大学薬学部)中村 洋

LC研究懇談会会員：1,000円、協賛学会会員(日本分析化学会含む)：3,000円、その他：4,000円、学生：500円(当日受付にてお支払い下さい)。

カタログ展示

1小間：5,000円(場所スペースは運営委員に一任させていただきます)

技術・情報交流会

講演終了後、講師を囲んで情報交換会を開催します(薬学部食堂を予定)。会費：1,000円。

申込方法

参加希望者は、別紙の参加申込書([ここをクリックして](#)現れるページをプリントアウトしてご使用下さい)にご記入のうえ、FAXにより又は郵便によりお申し込み下さい(定員をオーバーした場合のみご連絡します。)

申込先

郵便番号141 東京都品川区西五反田1-26-2 五反田サンハイツ304号

(社)日本分析化学会 液体クロマトグラフィー研究懇談会

[電話：03-3490-3351、FAX：03-3490-3572、E-mail：hm_tanaka@jsac.or.jp]